



## 清田区第1・第2地域包括支援センター主催

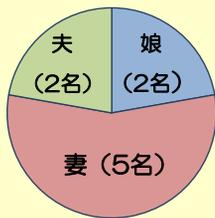
### 令和6年度『清田区家族介護者の集い』

令和6年12月18日清田区役所にて「清田区家族介護者の集い」を開催しました。

50代～80代の男性2名女性6名の計8名の介護者の方にご参加いただきました。また、今回は**当事者の方1名の参加**もあり、別室で専門職と一緒にポッチャをしたり、お茶とお菓子でゆったりと過ごしていただきました。

集いの前半では、奥様を介護している方から「介護の工夫やストレスをためない工夫」をテーマにお話しいただき、その後、参加者の皆さんで交流会を行いました。

#### 【参加者内訳】



#### 【参加理由】

認知症の妻の介護をしている。  
入浴をしたがらないことや洗濯時に下着を出さないことなど対応に苦慮している。

夫が認知症。どんどん進んでいるように思い、今後が不安。介護者の思いを話したい。他の人がどのように介護しているか関わり方を知りたい。

「認知症」の対応に苦慮されている方が多く参加されておりました。

#### 【講話】 奥様を介護されている方に、経験に基づいたお話をしていただきました。

発症してからユマニチュードと出会うまでケアがうまくできませんでした。「誰かが盗んだ」とか、強い思い込みを持ち説明に耳を貸さない。自分の家なのに「帰りたい」と頻りに言う。2回目までは我慢するけどさすがに3回目は怒っていましたが、ユマニチュードの番組をみて感動した私は対応を変え、妻のことを名前で呼んだり、**感謝している、ありがとう、愛している**と言い続けるようにしました。最初は「聞き飽きた」と言われたこともありましたが時間の経過とともに「お父さん変わったね、信頼できるようになった」と言われ「やった！」と思うことができました。

(一部抜粋)

感想 「かかわり方や接し方の大切さを感じた」

#### 【グループワーク】

##### 配偶者介護グループ

- ・CMとの関係は大切
- ・本人の希望をかなえられるようにしたい
- ・本人と一緒に楽しいことをするようにしている
- ・何度も同じことを聞かれるとイライラする
- ・自分の時間を持つなど気分転換は大事



##### 親介護グループ

- ・同じ事を何度も聞かれると感情的になってしまう
- ・本人の習慣から手帳を使うように伝えたら自分で確認するようになった
- ・介護殺人のニュースを見たが、お金がないからなのか、周囲の見守りがいいからなのか

感想 「聞いてもいいのかな？話してもいいのかな？と思っていた事も聞く事ができて良かった」

#### 【最後に】

ご参加された皆様は、はじめは緊張されている様子でしたが、交流会終了後も話が途切れず会場を出るまで参加者同士でお話されている場面もあり、介護者同士がつながりを持ち、日頃の介護の悩みや気持ちを話す機会の大切さを改めて感じました。

ケアマネジャーの皆様のご協力により、無事に開催させていただくことができました。次年度もまた開催させていただきますので、ぜひ、多くの介護者の方へご活用頂けるようお声かけをお願いいたします。